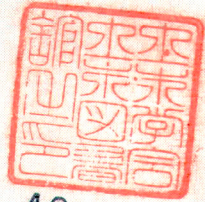


昭和42年度夏期講習会資料

コンクリート



42. 8. -2

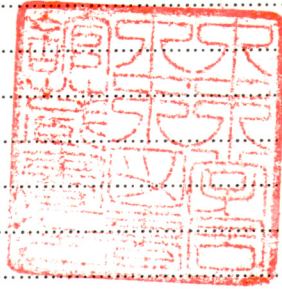
昭和42年8月

社 団 法 人 土 木 学 会 編

昭和 42 年度夏期講習会資料*

総 目 次

鉄筋コンクリート標準示方書総論	河野 通之
1. コンクリートのヤング係数	1
2. せん断力	2
3. 許容応力度	7
鉄筋コンクリート標準示方書各論 (1)	松本 嘉司
4. 一般構造細目	11
5. 部材の設計	18
鉄筋コンクリート標準示方書各論 (2)	尾坂 芳夫
6. 柱	47
7. 壁	58
8. ラーメン	68
9. アーチ	92
人工軽量骨材コンクリート設計施工指針 (案)	村田 二郎
人工軽量骨材コンクリート設計施工指針 (案) について	101
プレパックド コンクリート施工指針 (案)	赤塚 雄三
プレパックド コンクリート施工指針 (案) について	111
鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針 (案)	杉木 六郎
鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針 (案) について	123



*本書は 昭和 42 年度夏期講習会用の資料として、聴講者の便を考慮して、示方書利用の場合参考となるとと思われる資料をあつめたものである。

なお、「鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針 (案)」は現在検討中であるので第 1 次原案を集録した。

体裁・内容等は不統一であるが、各講師の説明により、本書の価値は十分に生かされるものと思う。

登 録	昭和 42 年 8 月 9 日
番 号	第 7801 号
社 団 法 人	土 木 学 会
附 属	土 木 図 書 館

鉄筋コンクリート解説資料

目 次

I. 鉄筋コンクリート標準示方書総論	河野 通之
1. コンクリートのヤング係数	1
2. セン断応力	2
3. 許容応力度	7
II. 鉄筋コンクリート標準示方書各論(1)	松本 嘉司
4. 一般構造細目	11
4.1 鉄筋の間隔	11
4.2 鉄筋の曲げ方	11
4.3 ハンチその他の内側に沿う鉄筋	12
4.4 鉄筋の継手	12
4.5 鉄筋の定着	14
4.6 露出面の用心鉄筋	15
4.7 集中反力をうける部分の補強	15
4.8 開口部周辺の補強	17
4.9 伸縮継目	17
4.10 水密構造	17
4.11 排水工および防水工	17
5. 部材の設計	18
A. スラ ブ	18
5.1 構造解析	18
5.2 スラブのスパン	24
5.3 一方向スラブの有効幅	24
5.4 二方向スラブ	28
5.5 構造細目	33
B. は り	34
5.6 T形はりの突縁の有効幅	44
5.7 構造細目	46
III. 鉄筋コンクリート標準示方書各論(2)	尾坂 芳夫
6. 柱	47
6.1 柱の有効長さ	47
6.2 短 柱	48
6.3 長 柱	53
6.4 荷重にたいして断面の大きい柱	55
6.5 らせん鉄筋を用いた設計例	55
6.6 帯鉄筋柱の構造細目	58

7. 壁	58
7.1 壁の設計計算に用いる有効幅	58
7.2 面内の曲げをうける壁（ディープビーム）	59
7.3 せん断壁	63
7.4 鉛直荷重をうける壁の構造細目	67
7.5 耐震壁の構造細目	67
8. ラーメン	68
8.1 構造解析	68
8.2 剛域	73
8.3 断面算定	86
8.4 支承の構造細目	88
8.5 経済設計	89
9. アーチ	92
9.1 軸線の決め方	92
9.2 構造解析	93
9.3 座屈の検討	96
9.4 固定アーチのクラウンにおけるリブの厚さの決定法(ストラスナーの方法)	98
9.5 最近におけるアーチ橋の設計例	99